

東葛南部 認知症疾患医療連携協議会を 開催しました

9月27日、当院にて第18回の東葛南部認知症疾患医療連携協議会が開催され、当院スタッフのほか、八千代病院、6市の包括支援担当者など43名が参加して、症例検討や意見交換が行われました。

当院の認知症センターは、今年度より、榊原・笹平両医師や看護師長・作業療法科(OT)が加わるなどスタッフの大幅な増強が行われ、より充実した治療支援体制となっています。

今年度より、認知症疾患医療センターの一員として、作業療法科が加わりました。そして今回、当院で開催された連携協議会に初めて参加させていただきました。

事前準備から関わらせていただき、会自体はあっという間に終了しました。というのも、様々な事例検討が行われるなかで、どの事例も、支援スタッフが出来る事を精一杯取り組まれておられ、さらにより良い支援や対策がないものかと考えている姿勢がとても印象的でした。

その地域で生活をされている方々への支援。作業療法士として関わっていたら何が出来るのだろうと色々と考えてみるものの、病院に務める作業療法士では視点のズレがあるのかな...など、思考が行ったり来たりしていました。

また、最後の最後、小松院長の力強い助言に、支援スタッフの肩の力がずっと抜けた瞬間があり、連携協議会の強みも感じる事が出来ました。(作業療法科長 栗原)



私は令和5年度から認知症疾患医療センターの担当となり、今回初めて連携協議会に参加しました。

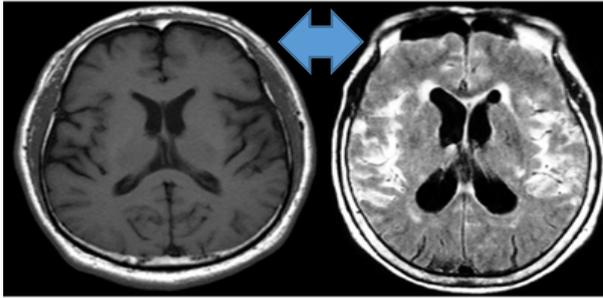
事例検討では、地域包括支援センターと鎌ヶ谷市高齢者支援課から事例が挙げられました。運転免許証の自主返納を勧めていくことの難しさや、福祉サービスに繋がらない独居高齢者、暴言や威圧行動がある中で訪問などのサービスを開始するリスクや判断基準について検討されました。

認知症疾患医療センターの電話相談でも同様の相談を受けていることから、共通の地域課題として検討できる場はとても有意義でした。(MHSW田邊)

頭痛は、生涯で3人に1人以上が経験しているといわれます。その大多数は良性頭痛であり、適切な治療で改善されるものです。一方、頭痛の中には急を要する、悪性(危険な)頭痛もあります。

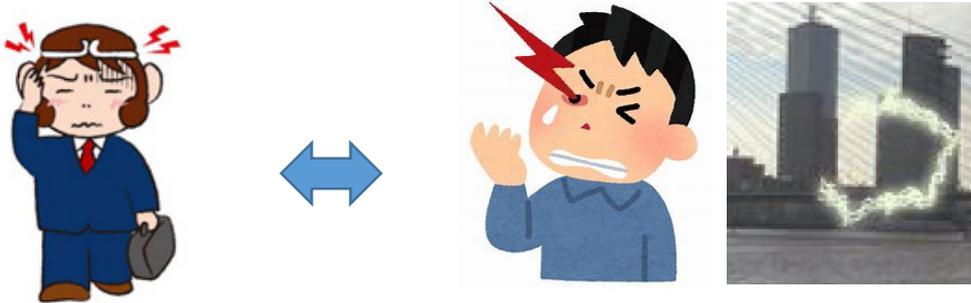
頭痛の内訳

良性頭痛(95~97%;左側)と、悪性(危険な)頭痛(3~5%;右側、クモ膜下出血の例)



良性頭痛の内訳

緊張性頭痛(70%;毎日ある頭痛 イメージ図左側)と古典型片頭痛(30%;半円形のキラキラした視覚性前兆に続く、嘔吐する強い頭痛 イメージ図右側)



良性頭痛の中で、緊張性頭痛が最も多く、ストレス(痛み症候群型の身体症状症、小児から高齢者までみられます)と局所のこりの2つの原因があります。2番目に多いのが片頭痛で、脳血管壁やセロトニン神経の遺伝子が原因となります。

緊張性と片頭痛の合併例もみられます。緊張性頭痛、片頭痛には別々の特効薬があります。頭痛に悩んでいる方がおられたら、是非、脳神経内科を受診してください。

医療法人 同和会 千葉病院

【病院概要】

診療科

精神科・神経科・歯科(要予約)

院長

小松 尚也

外来診療時間

平日9:00~12:30(月曜日のみ9:30~12:30)

土曜日9:00~12:30(午後は予約制)

休日

木曜日・日曜日・祝祭日・6月1日(創立記念日)

所在地

〒274-0822 千葉県船橋市飯山満町2-508

TEL:047-466-2176 FAX:047-466-7503

ホームページ://www.dchp2176.com

千葉県認知症疾患医療センター

TEL:047-496-2255 FAX:047-496-2256



千葉病院 患者様の権利

個人として、人格およびプライバシーが尊重されます。安全な環境で、可能な限りの良質な医療が提供されます。職員のいかなる行為に対しても説明を求め苦情を申し立てることができます。精神保健福祉法に則った医療および処遇が保障されます。職員から思想・信条・宗教および個人的関係は強制されません。個人情報保護されます。

